

第35回「大津市図書館協議会」の会議結果

- 開催日時 令和7年8月28日（木）15時00分～17時15分まで
- 開催場所 大津市立図書館 読書室
- 出席者 委員6人・事務局8人・計14人
- 傍聴者 無
- 次第
 1. 開会
 2. 市民憲章斉唱
 3. 挨拶（井上会長）
 4. 挨拶（図書館長）
 5. 委員紹介
 6. 事務局紹介
 7. 議事
 - (1) 令和7年度大津市立図書館事業概要について
 - (2) 「大津市図書館事業計画」にかかる令和6年度事業評価について
 8. 報告事項
 9. 閉会

- 会議の概要（発言内容については要旨を記載）

◎議事

〔議題1 令和7年度大津市立図書館事業概要について〕

・事務局説明

委員 令和6年度の図書館費の一般会計に占める割合が0.26%。一般会計に対して図書館費が1%程度あるとよいサービスができると言われている。類似の自治体と比較した場合、大津市の位置がどのあたりかどうかでも評価できる。

行政施策の中で図書館政策がどのような位置にあるのか。図書館は本を借りる場所、学生が勉強する場所というだけでなく、様々なサービスや行政連携などに取り組みされている。全方位的に市民の皆様の日々の暮らしに役に立つということをアピールして欲しい。

実利用者数が向上していることはとても素晴らしい。図書館にはヘビーユーザーもいれば、年1、2回という利用者もいるので、幅広い資料が用意されていれば情報を必要とする方々に広くご利用いただける。大津市の実利用者割合を算出すると8.5%。人口が多い都市では相対的には低くなる。大津市も実利用率をもう少し上げられたら良い。電子図書も非常に多く利用していただいているので、このあたりも加味して、同規模の自治体と比較して、市民の図書館利用について検討していただけたらと思う。

事務局 教育委員会の中でも学校の長寿命化計画やトイレ改修、体育館のエアコン設置工

事などの投資的経費が増加する中、図書館の資料整備費を３年間確保してきた。中核市の比較については、真ん中あたりに位置している。

委員 大津市の図書館も４４年が経過しているが、今後の建替など具体的な計画はあるのか。

事務局 大津市では現在庁舎の建替予定や、福祉施設や学校等優先順位により、図書館の具体的な計画は上がっていない。先進地の取組などを注視している。

会長 総務省が公共施設の状況を調査している。例えば鉄筋コンクリートは、昔は５～６０年保たせるとしていたが、手を入れれば８０～１００年維持できるという考え方になってきている。図書館の立地も含め、大津市という広い地域の中で公共施設をあり方について、色々と進めておられるかと思うが、他の市町も同じように方向性を検討されていると聞いている。

委員 図書購入費の推移について、近年は維持されていることは図書館の努力の賜物だと思う。所蔵スペースに限りがあり、除籍作業も大変なのでは。予算はどのように要求されているのか。

事務局 前年度予算を参考に教育委員会の中で予算枠が示され、５か年の中期財政計画を作成し、その中で図書購入費を維持できるよう考えている。

委員 幼稚園では団体貸出を利用させていただいており、とてもありがたい。年々幼稚園の図書購入費も減ってきている。これからも、うまく連携を図っていききたい。建て替えされている図書館もあるが、財政難ではあるが、視覚的にも行きたいと思う図書館であってほしい。

保護者にも本に関心をもってもらうために、幼稚園としても行政と一体となって取り組んでいければ、子どもたちにとっていい環境ができるのではと感じている。幼稚園で絵本に触れる機会はとても大事で、幼稚園の間に触れている体験があると次に続いていく。就学前の子どもたちに向けて取り組まれている事業などについてお聞きしたい。

事務局 図書館内での催しのほか、外へ出向いておはなし会を開催したり、図書館の利用案内の説明にお伺いしている。保育園・幼稚園だけでなく、児童館や子育て総合支援センターなどにもセット貸出を行っている。

会長 各自治体では子ども読書振興計画（大津市は「子ども読書活動推進計画」）を作成し、事務局からの報告にもあったように、アウトリーチサービスとして子どもたちにサービスを届ける工夫を色々とされている。ぜひ現場からの意見も届けていただければ良いと思う。

委員 昨年度、交通安全指導として、通園バスの中で交通安全の紙芝居をした。紙芝居は購入するのもお金がかかるため、和邇図書館からお借りして実施できたのでとても嬉しかった。今後も連携させていただきたい。図書館にある紙芝居をこのように活用することで市民に還元でき、このような利用をしてもらいたい。

事務局 今年度は各保育園で本が購入できるよう園ごとに図書費を分配し、園ごとに利用いただけるようになったとお聞きしている。

- 委 員 子どもと絵本の大切さについて、お話できる機会があればもっとよいと思う。
この夏の猛暑で、とても図書館に行きづらかった。昨年度と比べてこの夏の利用者数や込み合った時間帯など、お聞きしたい。
- 事務局 本館では、時間帯のピークなどは例年と大きく変化はないように感じている。ベビーカーでの来館が少なくなった印象。
北館は昨年度と同じ。出入口付近は外気との気温差が大きく温度管理に注意した。
和邇館は、隣に体育館や文化ホールがあるため、イベントがある時などに来者数は多くなる傾向がある。涼みに来館し、雑誌を読みに来られる方や子どもづれの家族が少し増えた。

〔議題２ 「大津市図書館事業計画」にかかる令和６年度事業評価について〕

活動目標① 市民の学びに応える図書館

・事務局説明

- 委 員 電子書籍の貸出冊数は本館で集約されているのか。
- 事務局 本館で集約している。
- 委 員 紙の本の予算を維持しながら電子書籍予算を確保されて、とても努力されている。
「どこの地域の方が利用された」など、地域特性が分析できれば、利便性の高い成果を全館的にシェアできると良いと感じた。
- 会 長 市立図書館での貸出が若干減少したとしても、事務局において学校図書館の利用状況を把握することで、それも含めて貸出の増減を判断する形にしてもよいのではないか。子ども読書振興計画の中で、「子どもの身近なところで本を読むようにしましょう」とされている。図書館に行けない人もおられるので、色々な形の中で読書振興を考えていただけたらと思う。
- 委 員 学校が利用している団体貸出の冊数も加味してはどうか。
- 事務局 小学校には２か月に１回、団体貸出を実施している。団体貸出の本の中で、どれだけ読まれているか、把握が難しい。
- 会 長 数字だけではかれるものではないが、目標値に達していないためＢ評価とする。

活動目標② 誰もが利用できる図書館

・事務局説明

- 会 長 それぞれの館について数字で評価するにあたり、分母をどう考えるのか。
来館者を地域別に分析した地図に基づきサービスを考える演習をしたことがある。
各館の利用者の居住地分析を行う手法を取り入れることで、利用実態の可視化や地域住民のニーズに合わせたサービスの展開など、課題がわかるかもしれない。
また、全域サービスの視点で漏れがないのかという視点や、多文化サービスといわれるような外国にルーツのある方、外国籍の方へのサービスをどのように考え

るかについて記載がなかったので、大津市立図書館の考え方を表明されても良いのではないかと思います。

委員 幼稚園でも外国籍の子どもが増えている。園内でも絵本を見る時に、文字の壁があり、そういう本があることで安心できる。日本語の分からない保護者もいる。

会長 以前はポルトガル語やスペイン語が主流であったが、アジア言語がかなり多くなってきている。日本と同じ出版や文化状況とは一概には言えないが、アジア言語について、どのようなサービスをしていくのか、資料が提供できなかったとしても、図書館内の案内などにそのような言語を使用するなどすれば、「私はここを使用してもいいんだ」と思っただけ。できることから検討いただけたらと思う。

委員 和邇図書館について。来館者数が減少しているが、人口自体も減少しているためそのようなことも勘案してA評価にしても良いのではと思う。

委員 和邇図書館で上映されている「名画の窓」の来場者数は。

事務局 本館や北館のような施設ではなく、会議室にスクリーンを置き、定員40人で上映をさせていただいているが、定員を超えることはない。施設が十分ではないので、長時間の映画に合わせて座布団を持ってきたりなど事前に案内をさせていただくなどしている。

委員 以前よりも雰囲気が良くなっている。職員も親切丁寧に対応いただいている。本が借りやすい雰囲気になり、とても良く変わってきていると感じている。

会長 委員からも人口減少についても意見があった。努力いただいている実績からも、和邇館も含めてA評価とさせていただく。

活動目標③ 魅力あふれるまちづくりを支える図書館

・事務局説明

委員 豊かな連携事業や展示がされて素晴らしいと感じている。健康問題や福祉問題などの展示をされる場合、例えば理学療法士の講話やストレッチの実演など、行政連携の中で専門職の方の講演やワークショップの開催などされているのか。

事務局 健康関連事業では、中すこやか相談所に所属する保健師に来ていただき連携事業を実施している。過去には市民病院の技師による骨密度測定をしていただいたこともある。今後も医療関係専門職と連携することによって健康増進について情報発信を行っていきたい。

会長 本館は指標の目標値を上回る回数の実施があるので、今後はもう少し目標値を上げてはどうか。A評価とさせていただく。

活動目標④ 子どもの育ちを支援する図書館

・事務局説明

委員 図書館職員が学校園に出向いて色んな努力をしていただいているが、この取組によって子どもがどのように変わったか、成果を学校の先生と共有されたりしているか。

事務局 学校園には出前講座に行かせていただいていたが、今年度「おはなしツバメ便」という形で全小中学校に図書館利用案内やおはなし会に出向きますという案内をしたところ、利用が増えた。小学校に行かせていただいた後に、子どもたちがお礼をしたいと写真やひとりひとり感想を書いたものを送っていただいたり、先生からお礼の電話をいただくことがあった。館内だけではなく、出向いておはなし会をすることは大切だと改めて感じた。

委員 小中学校には学校図書館司書は配置されているのか。専任なのか掛け持ちなのか。

事務局 司書教諭は学校によって異なるが、学校司書については学校教育課により今年度は小中学校に6人を配置し、週に1校につき2回勤務している。常駐ではない。

会長 設置主体（国立、私立、市立）により異なるが、司書教諭（教員が図書館の担当をする）は、ほとんどの場合専任ではなくクラス担任等兼任をされている。学校図書館司書という形で会計年度任用職員として任用されていることが多い。先進的な所では各学校に1人ずつ、週5日勤務として常に図書館が開いているが、限られた人数で複数の学校を担当している場合であれば、いつ行っても図書館が閉まっているということになりかねない。昔は子どもたちが図書委員として図書室を管理運営する時代もあったが、今はなかなかできない。学校図書館の館長は校長先生であり、学校教育法の中で教育に資するという形の中で運営をされている。公立図書館とは異なる目標・目的で運営をされていることもあり、学校教育と社会教育との連携の中で、利用者は大津市民にはわかりなく、自治体により配置や規模は異なる。

委員 10か月健診時の図書館利用案内やおはなし会のチラシなどの配布されているが、自分も経験上、6か月健診の読み聞かせなどが良い体験だった。こういう企画が良いことだと感じた。

事務局 ブックスタートについては生涯学習課の取組となる。健診時の図書館利用案内やおはなし会の開催などは、生涯学習課と連携を図りながら行っている。

会長 ブックスタートは時期や回数も市町村によって異なる。

事務局 おはなし会はしているが、本のプレゼントは本市は行っていない。

委員 4か月健診の方が受診率が高いので、図書館の情報が生涯学習課との連携の中でうまく届いているのかが気になった。生涯学習課はどのように連携されているのか。

事務局 現状は、10か月健診時に図書館利用案内や絵本のリストを入れていただいている。生涯学習課が、子ども読書推進計画の策定や総括をしており、生涯学習課が募集したボランティア団体によるおはなし会をされている。

委員 健診でチラシを配布された方が利用されているか。

事務局 数字では把握はできないが、健診に来られた方全員に図書館の利用案内を配布さ

せていただくため、目に留めていただくことで、図書館のことを知っていただくきっかけになればと思っている。

委員 子どもが小さいうちに知ってほしい。立地的にも、電車や公共駐車場から降りてベビーカーを押して来館するのは大変で、来館することへの敷居が低く、最初に心地よい体験があると、また行ってみようかと繋がる。チラシから情報を得るという習慣が保護者も少なくなっているのではないか。視覚的な発信も大事で、せっかくしていただいていることが効果的に届かず、時代に合った方法が何かないか、知ってもらうことが重要。

委員 QRコードを付けて動画配信などで状況を伝えることもできる。

会長 アウトカム（効果）がどれだけあるかも検証していただけたらと思う。

広報の効果的な方法についても図書館に限った話ではないが、工夫をしながら取り組んでいただけたらと思う。

評価については、質問や意見についてしっかり受け止めていただくということで、A評価とさせていただきます。

活動目標⑤ 市民とともにつくる図書館

・事務局説明

委員 市民協働事業者とは具体的にこういった団体があるのか。「図書館友の会」のようなものはあるのか。

事務局 本館は、図書館利用団体がいくつかあり、おはなし会や朗読会を実施している。友の会はない。

北館は、おはなし会や朗読会をしていただいているサークル団体が複数ある。

和邇館は、サークル協議会に4つの団体があり、朗読会や化学実験のイベントを実施していただいている。

会長 要望を2つ。市民協働とはボランティアであり、共に図書館サービスを行うことなので、市民協働という意識を持って適した形で接していただきたい。もう1つは、個人情報の取扱や守秘義務などに留意いただくとともに、図書館職員も職員以外の方が執務室に入られるという意識をもって対応してほしい。

ボランティアとして参加する方にも研修を受けていただき、これらに留意してボランティアとして従事いただくことを要望する。

委員 ボランティアの自主性を活かしていただくよう留意いただきたい。

会長 指標の目標以上の実績をあげていただいている。A評価とさせていただきます。

これをもって終了